

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	ブライダル知識ⅡA		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダル知識ⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する。		
到達目標	ブライダルコーディネート技能検定3級合格を目指す。 ブライダルの基礎知識、用語を理解し使いこなせるようになる。		
評価基準	テスト：60％　小テスト（提出物）：30％　授業態度：10％		
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者		
関連資格	ブライダルコーディネート技能検定3級		
関連科目	ブライダル知識ⅠAB・ブライダル知識ⅡB ホテルプランニングAB・オリジナルプランニングAB		
備考	原則、この科目はオンデマンドにて実施する。		
担当教員	細田　琴海	実務経験	○
実務内容	映像業界で培った経験を活かし、ウェディングプランナーとして、打ち合わせから当日の映像撮影まで一貫して担当。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年次振り返り 海外ウェディング・二次会	1年次振り返り 海外ウェディング、新婚旅行、二次会会場、1.5次会について理解する
2	コーディネーター業務 コーディネーターの役割	セールスと施行について理解する 担当制と分担当のの違いについて学ぶ コーディネーターの当日の役割について理解する
3	新規業務 ホスピタリティ営業	カップルの動き、集客方法について知る ブライダル商品の特徴を知る
4	プランニング 成約業務	プランニング、プレゼンテーション方法を理解する 結婚式当日までの大まかな打ち合わせスケジュールを理解する 成約時にどのような手続きが必要なのか知る

5	成約～当日 打ち合わせの流れ	時期に合わせた打ち合わせ内容を理解する
6	コーディネート 会場コーディネート テーブルコーディネート	会場内のコーディネートについて理解を深める
7	衣裳1 衣裳、ヘアメイク、着付け1	衣裳、ヘアメイク、着付けについての知識を身につける
8	衣裳2 衣裳、ヘアメイク、着付け2	衣裳、ヘアメイク、着付けについての知識を身につける
9	フラワーアイテム 装花の手配	フラワーアイテムについて理解する 手配スケジュールについて知る
10	ペーパーアイテム ペーパーアイテムの手配	ペーパーアイテムの手配スケジュールを知る ペーパーアイテムの注意点について学ぶ
11	料理・飲物1 テーブルセッティング1	料理・飲物についての知識を身につける テーブルセッティング方法について知る
12	料理・飲物2 テーブルセッティング2	料理・飲物についての知識を身につける テーブルセッティング方法について知る
13	引出物、引菓子 記録、記念アイテム	各アイテムの内容、注意点を知る 手配スケジュールについて知る
14	前期テスト	前期テスト実施
15	総まとめ	テストの振り返りとまとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	ブライダル知識ⅡB		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダル知識ⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する。		
到達目標	ブライダルコーディネート技能検定3級合格を目指す。 ブライダルの基礎知識、用語を理解し使いこなせるようになる。		
評価基準	テスト：60％・提出物：30％・授業態度：10％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	ブライダルコーディネート技能検定3級		
関連科目	ブライダル知識ⅠAB・ブライダル知識ⅡA ホテルプランニングAB・オリジナルプランニングAB		
備考	原則、この科目はオンデマンドにて実施する。		
担当教員		実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	一般常識問題	一般常識問題を想定し解答する
2	筆記問題対策1	過去問題を解く
3	筆記問題対策2	
4	筆記問題対策3	
5	筆記問題対策4	
6	実技対策1	対策問題、予想問題を使用し問題を解く
7	実技対策2	

8	実技対策3	対策問題、予想問題を使用し問題を解く
9	実技対策4	
10	模擬テスト1	対策問題を解く
11	模擬テスト2	
12	模擬テスト3	
13	模擬テスト4	
14	検定振り返り	検定を振り返り答え合わせをする
15	総合授業	これまでの授業総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	キャリアデザインⅡ A		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザインⅡ A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	15
使用教材	各校就職ガイドBOOK			出版社	なし

科目の基礎情報2

授業のねらい	就職活動に向けて具体的な対策と社会人になるための知識を身につける				
到達目標	就職活動の流れを理解する 面接方法が実践できる				
評価基準	授業態度30%・提出物40%・グループディスカッション30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	キャリアデザインⅠ・ブライダルビジネスマナー インターンシップⅠ・インターンシップⅡ・インターンシップⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	遠藤 佑美 他1名			実務経験	○
実務内容	ドレスショップにてドレススタイリストとして勤務し、新郎新婦衣装合わせのほか、広告撮影や買い付けを経験。 またフォトスタジオ立ち上げに関わりマーケティングやSNSを担当				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職活動について	1年次の振り返り
2	社会で求められる人材について	社会で求められる能力を理解する
3	スケジュール管理 To Doリスト作成	優先順位の立て方を理解し、どのように仕事を行うのかを学ぶ スケジュールに立て方、管理の仕方を学ぶ
4	履歴書・エントリーシート 面接や企業について1	1年次の振り返りを踏まえて理解を深める 自身が実践してきたことをアウトプット・共有をする
5	グループディスカッション	グループディスカッションの役割を理解し、実践練習を行う
6		

7	グループディスカッション	グループディスカッションの役割を理解し、実践練習を行う
8	履歴書・エントリーシート 面接や企業について2	1年次の振り返りを踏まえて理解を深める 自身が実践してきたことをアウトプット・共有をする
9	社会人基礎力について 社会で求められる人材について	社会人基礎力を身に着ける為に、必要なことを考え・理解する
10		
11		
12		
13		
14		
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	キャリアデザインⅡB		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザインⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	15
使用教材	各校就職ガイドBOOK			出版社	なし

科目の基礎情報2

授業のねらい	就職に向けて具体的な対策と社会人になるための知識を身につける				
到達目標	就職活動の流れを理解する。 社会人に必要なマナーやスキルを理解する。				
評価基準	授業態度40％・提出物30％・テスト30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	キャリアデザインⅠ・ブライダルビジネスマナー インターンシップⅠ・インターンシップⅡ・インターンシップⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	社会人とは	社会の一員となることを理解する
3	スケジュール管理 To Doリスト作成	優先順位の立て方を理解し、どのように仕事を行うのかを学ぶ スケジュールに立て方、管理の仕方を学ぶ
3	社員とアルバイトの求められるものの違い	社員とアルバイトの求められるものの違いを理解する
4	仕事の進め方	仕事の進め方について学ぶ
5	社会人に求められるスキルについて	働くにあたり、どのようなスキルが必要なのかを理解する

6	人間関係構築力について	良い人間関係を築く為に、どのように行動したらいいのかを学ぶ
7		
8		
9		
10	社会人マナーについて	冠婚葬祭マナーや入社書類について 給与明細の見方・お金の常識について 引っ越しや一人暮らしについて
11		
12		
13		
14	卒業に向けて	学校生活を振り返り・これからの自分を考える
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	ブライダルジュエリー		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルジュエリー		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	15
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報2

授業のねらい	ブライダルに関わるジュエリーの基礎知識を学ぶ				
到達目標	ブライダルジュエリーの基礎知識、業界の動向を学び、お客様に幅広い提案の出来る人材を目指す				
評価基準	テスト50％・プレゼン30％・授業態度20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	室伏 奎甫 他2名			実務経験	○
実務内容	ゲストハウスにて5年間、コンシェルジュ・セールス・プロポーズプランナーとして勤務経験有。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	ブライダルジュエリーの知識の必要性 ブライダルジュエリーの歴史
2	ブライダルジュエリー基礎1	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ
3	ブライダルジュエリー基礎2	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ
4	ブライダルジュエリー基礎3	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ
5	ブライダルジュエリー基礎4	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ (コーディネートプレゼン1準備)
6	ブライダルジュエリー基礎5	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ (コーディネートプレゼン2グループ発表)
7	ブライダルジュエリー基礎6	ハワイアンジュエリーや五大貴石を学ぶ

8	ブライダルジュエリーブランドを調べる1	ブライダルジュエリーブランドの企業研究を行う（国内ブランド）
9	ブライダルジュエリーブランドを調べる2	ブライダルジュエリーブランドの企業研究を行う（海外ブランド）
10	指輪のサイズ ラッピング技術	指輪のサイズの調べ方を学び、実際に各自のサイズを知る 実践で使えるラッピング技術を学ぶ
11	ブライダルジュエリー実践	ジュエリーのメンテナンス方法を学ぶ
12	プロポーズの提案1	商品を購入したお客様にプロポーズの提案を行う
13	プロポーズの提案2	提案したプロポーズ方法を発表する
14	前期試験	筆記試験
15	総合学習	半年間の振り返り

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ブライダルプロジェクトⅡ A		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダルプロジェクトⅡ A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報2

授業のねらい	日頃の授業のアウトプットを行いながら、行事の準備を進めることで、主体性・協調性・実践力を身に付ける				
到達目標	今まで授業の中で学んできた技術・知識を活かし、実践力を身に付ける 現場に近い手順で進めることで、企画立案施行を学ぶ				
評価基準	提出物40％・振り返り30％・授業態度30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ブライダルプロジェクトⅡB、ドレスソーイング&メンテナンスⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	遠藤 佑美 他1名			実務経験	○
実務内容	ドレスショップにてドレススタイリストとして勤務し、新郎新婦衣装合わせのほか、広告撮影や買い付けを経験。 またフォトスタジオ立ち上げに関わりマーケティングやSNSを担当				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入1	動機づけ・当日までのスケジュール・各セッション説明について
2	導入2	デッサンシート、構成シートの書き方・全体テーマ発表・チーム分け
3	各チーム準備1	チーム目標立て・チームテーマ決め・各セッション、モデル決定
4	各チーム準備2	スケジュール立て・デッサンシート作成・クラス費の使い方説明・予算立て
5	各チーム準備3	構成シート、デッサンシート作成・ドレス決定・演出決定・BGM決定
6	各チーム準備4	構成シート、デッサンシート作成、練習・作成（ドレスリメイク、ヘアメイク、ネイル、ブーケ等）

7	各チーム準備5	練習・作成（ドレスリメイク、ヘアメイク、ネイル、ブーケ等）
8	各チーム準備6	練習・作成（ドレスリメイク、ヘアメイク、ネイル、ブーケ等）
9	各チーム準備7	練習・作成（ドレスリメイク、ヘアメイク、ネイル、ブーケ等）
10	各チームリハーサル1	各チームで本番同様の流れでリハーサルを行う
11	各チームリハーサル2	各チームで本番同様の流れでリハーサルを行う
12	リハーサル	全チームで通しリハーサル
13	行事本番	行事本番
14	振り返り	作成物の整理を行う、行事全体の振り返り
15	総まとめ	ドレスショーの経験を活かし、ブライダルコレクションの内容を検討

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ブライダルプロジェクトⅡB		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダルプロジェクトⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報2

授業のねらい	日頃の授業のアウトプットを行いながら、行事の準備を進めることで、主体性・協調性・実践力を身に付ける				
到達目標	今まで授業の中で学んできた技術・知識を活かし、実践力を身に付ける 現場に近い手順で進めることで、企画立案施行を学ぶ				
評価基準	提出物40％・振り返り30％・授業態度30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ブライダルプロジェクトⅡA、ドレスソーイング&メンテナンスⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	遠藤 佑美 他1名			実務経験	○
実務内容	ドレスショップにてドレススタイリストとして勤務し、新郎新婦衣装合わせのほか、広告撮影や買い付けを経験。 またフォトスタジオ立ち上げに関わりマーケティングやSNSを担当				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	プロジェクトについて・当日までのスケジュール、各セッション説明について
2	目標・テーマ・各セッション決定	チーム目標立て・チームテーマ決め・各セッション、モデル決定
3	スケジュール・予算立て、デッサンシート作成	スケジュール立て・構成シート、デッサンシート作成・クラス費の使い方説明・予算立て
4	各セッション制作1	構成シート、デッサンシート作成・ドレス決定・演出決定・BGM決定
5	各セッション制作2	構成シート、デッサンシート作成、練習・作成（ドレスリメイク、ヘアメイク、ネイル、ブーケ等）
6	各セッション制作3	練習・作成（ドレスリメイク、ヘアメイク、ネイル、ブーケ等）

7	各セクション制作4	練習・作成（ドレスリメイク、ヘアメイク、ネイル、ブーケ等）
8	各セクション制作5	練習・作成（ドレスリメイク、ヘアメイク、ネイル、ブーケ等）
9	モデルウォーキング	モデルウォーキング・各セクション、動きの確認
10	ショーリハーサル1	ショー通しリハーサル・タイム取り
11	ショーリハーサル2	ショー通しリハーサル・タイム取り
12	全体リハーサル1	お仕度から通しリハーサル
13	全体リハーサル2	会場にて通しリハーサル
14	振り返り	行事の振り返り
15	総まとめ	行事の作成物をディスプレイする

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	花嫁着付けⅡA		
必修選択	選択	(学則表記)	花嫁着付けⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	45
使用教材	教本・花嫁テキスト・お太鼓枕・帯板・衿芯・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも(4)・仮ひも(1)・和装スリップ(肌着)・クリップ(5)・足袋			出版社	桜花出版 KW

科目の基礎情報2

授業のねらい	1年次に学んだ着付けの知識と技術を更に向上させ、ブライダル着付けのプロフェッショナルを目指す				
到達目標	花嫁着付けに必要な掛下の着付けと紋服・留袖の着付けを習得する				
評価基準	検定試験：40％　テスト30％　授業態度：30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、一般財団法人京都きもの伝承文化協会　きもの着付け資格				
関連科目	花嫁着付ⅠA・B　花嫁着付ⅡB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	中原 彩子 他1名			実務経験	○
実務内容	成人式振袖着付け　卒業式袴着付け				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	花嫁着付内容説明	デモンストレーション・小物の説明・準備の仕方・補整作り
2	掛下の着せ方1	補整・長襦袢・小物の片づけ方、たたみ方
3	掛下の着せ方2	掛下の着せ方(衿合わせの決め方)
4	掛下の着せ方3	掛下の着せ方(裾の引き方)
5	掛下の着せ方4	掛下に文庫結び

6	掛下の着せ方5	掛下に文庫結び 仕上げまで
7	掛下の着せ方6	掛下に文庫結び 仕上げ
8	掛下の着せ方7	掛下に文庫結び 仕上げ
9	花嫁着付3級検定向上会	「向上会」検定試験の流れ
10	花嫁着付3級検定	掛下に文庫結び(35分)
11	打掛の掛け方	お絡げ、褄取り、お掻取りの仕方 検定結果通知
12	紋服	紋服の着せ方、たたみ方
13	留袖の総仕上げ1	留袖・二重太鼓の総仕上げ
14	留袖の総仕上げ2	留袖・二重太鼓の総仕上げ
15	総合学習	留袖・二重太鼓の総仕上げ 婚礼着付けのまとめ 期末テスト

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	花嫁着付けⅡB		
必修選択	選択	(学則表記)	花嫁着付けⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	45
使用教材	教本・花嫁テキスト・お太鼓枕・帯板・衿芯・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも(4)・仮ひも(1)・和装スリップ(肌着)・クリップ(5)・足袋			出版社	桜花出版 KW

科目の基礎情報2

授業のねらい	1年次に学んだ着付けの知識と技術を更に向上させ、ブライダル着付けのプロフェッショナルを目指す				
到達目標	花嫁着付けの大振袖の着付けと引き振袖のお絡げ、袂取り、お搔取りの仕方を習得する				
評価基準	検定試験：40％　テスト30％　授業態度：30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、一般財団法人京都きもの伝承文化協会　きもの着付け資格				
関連科目	花嫁着付ⅠA・B　花嫁着付ⅡA				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	中原 彩子 他1名			実務経験	○
実務内容	成人式振袖着付け　卒業式袴着付け				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	大振袖の着せ方1	「大振袖の説明」教材・小物の準備の仕方　大振袖の着せ方
2	大振袖の着せ方2	大振袖に末広立矢結び（三重紐の使い方）
3	大振袖の着せ方3	大振袖に末広立矢結び（羽根の取り方）
4	大振袖の着せ方4	大振袖に末広立矢結び（亀甲の作り方）
5	大振袖の着せ方5	大振袖に末広立矢結び（形づけ・仕上げ）

6	大振袖の着せ方6	大振袖 仕上げ1
7	大振袖の着せ方7	大振袖 仕上げ2
8	花嫁着付2級検定向上会	「向上会」検定試験の流れ
9	花嫁着付2級検定	大振袖に末広立矢結び（35分）
10	引き振袖の着せ方	引き振袖～帯結び 検定結果通知
11	打掛の掛け方	お絡げ、褌取り、お搔取りの仕方
12	着付け総復習1	総復習練習1
13	着付け総復習2	総復習練習2
14	着付け総復習3	総復習練習3
15	総合学習	女袴の着付け・立居振る舞い 総まとめを行う 期末テスト

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ブライダルネイルⅡA		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルネイルⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック、ネイル道具一式、アート用具ジェルキット(中級検定用具一式)UVランプ、チップ			出版社	NPO日本ネイリスト協会

科目の基礎情報2

授業のねらい	ネイルの基礎知識と技術をマスターし、その先の応用技術ができるようネイルアートの幅を広げ習得する				
到達目標	ネイルの基本的なアートができる 応用を学び、技術の幅を広げる事ができる				
評価基準	検定結果（ジェル初級）30% 実技テスト30%、筆記テスト20%、授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター JNECネイリスト技能検定 NPO法人日本ネイリスト協会 JNAジェルネイル技能検定試験				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	青塚 菜々子			実務経験	○
実務内容	サロン勤務を経て、店長職、講師、客船ネイリストを経験				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ジェル検定初級検定実技1	ジェル検定初級内容を学び・技術を習得する
2	ジェル検定初級検定実技2	ジェル検定初級内容を学び・技術を習得する
3	ジェル検定初級検定実技3	ジェル検定初級内容を学び・技術を習得する
4	ジェル検定初級検定実技4	ジェル検定初級内容を学び・技術を習得する
5	筆記テスト ジェル検定初級検定実技5	筆記テスト ジェル検定初級内容 最終練習

6	実技テスト	ジェル検定初級検定実技テスト
7	ジェルネイル中級検定対策	中級検定説明 【筆記】 中級検定筆記対策 【実技】 中級検定説明 中級検定対策
8	ジェルネイル中級検定対策	【筆記】 ジェル検定中級対策 【実技】 中級検定対策 ジェルクリアスカルプチュア
9		
10		
11	ジェルネイル中級検定対策	【筆記】 ジェル検定中級対策 【実技】 中級検定対策 フレンチ・カラーグラデーション
12		
13		
14	実技テスト	実技テスト(ジェルスカルプ・フレンチ)
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ブライダルネイルⅡB		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルネイルⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック、ネイル道具一式、アート用具ジェルキット(中級検定用具一式)UVランプ、チップ			出版社	NPO日本ネイリスト協会

科目の基礎情報2

授業のねらい	ネイルの基礎知識と技術をマスターし、その先の応用技術ができるようネイルアートの幅を広げ習得する				
到達目標	ネイルの基本的なアートができる 応用を学び、技術の幅を広げる事ができる				
評価基準	実技テスト30% 筆記テスト30% 授業態度20% 提出物20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター JNECネイリスト技能検定 NPO法人日本ネイリスト協会 JNAジェルネイル技能検定試験				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	青塚 菜々子			実務経験	○
実務内容	サロン勤務を経て、店長職、講師、客船ネイリストを経験				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ジェルネイル中級検定対策	【実技】 ジェルクリアスカルプチュア (テクニカルシステム ジェル P62～66)
2	【実技】 中級内容	【実技】 ジェルクリアスカルプチュア (テクニカルシステム ジェル P62～66)
3	【実技】 中級内容	【実技】 中級内容でタイムトライアル (第一または、第二通し)
4	【実技】 中級内容	【実技】 中級内容でタイムトライアル (第二通し)
5	【実技】 中級内容	【実技】 中級内容でタイムトライアル (第二通し)

6	【実技】 中級内容	【実技】 中級内容でタイムトライアル（第二通し）
7	【実技】 中級内容	【実技】 中級内容でタイムトライアル（第二通し）
8	実技テスト	【筆記】 ジェル中級検定の内容で筆記テストを行う 【実技】 ジェル中級検定の内容で実技テストを行う
9	実技テスト	【実技】 ジェル中級検定の内容で実技テストを行う
10	ブライダル&トレンドアート1	流行のトレンドアートについて学ぶ
11	ブライダル&トレンドアート2	
12	卒業制作	テーマに合わせた作品制作
13	卒業制作	
14	卒業制作	
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実技	科目名	ブライダルエステA		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルエステA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	クリエース化粧品（エステセット）、 ナースシューズ、実習着、大タオル、白タオル、コットン、 消毒液			出版社	なし

科目の基礎情報2

授業のねらい	エステティックの基礎を学ぶことで将来、お客様にエステへ通う事の意義や重要性を伝える事を習得する				
到達目標	基礎になるフェイシャルエステとボディエステができる				
評価基準	筆記テスト30% 実技テスト30% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)20% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人 日本エステティック協会 認定フェイシャル&ボディエステティシャン				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	平田 里奈			実務経験	○
実務内容	トータルエステサロン勤務を経て、個人サロンを起業、経営。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション エステティックとは 使用方法と説明	オリエンテーション □ベッドメイク、ホットタオル作り □化粧品配布と取扱いについて □一連の流れについて
2	ボディ技術理論 生理解剖/エステティック種類	□ボディエステティックとは □トリートメントの目的を学ぶ □皮膚の構造を知る □エステサロンの種類について学ぶ □ボディカウンセリング

3	ボディトリートメント～1 ホットタオル拭取り	
4	ボディトリートメント～2 ホットタオル拭取り	ボディトリートメント導入・デモ 下肢後面 軽擦法～強擦法・揉撫法・打法・振動法 圧迫法～軽擦法
5	ボディトリートメント～3 ホットタオル拭取り	
6	小テスト	
7	アロマとは 精油の基礎知識を学ぶ	精油について 精油が心身に作用する経路を知る
8	アロマセラピーの利用法 小テスト	香りのイメージを学ぶ 精油の使用方法、安全の為の注意
9	腰背部ボディトリートメント1 (アロマトリートメント)	デモンストレーション・手技・拭き取りについて学ぶ
10	腰背部ボディトリートメント2 (アロマトリートメント)	復習
11	腰背部ボディトリートメント3 (アロマトリートメント)	復習
12	復習 通し練習1	腰背部 (アロマトリートメント)
13	復習 通し練習2 実技テスト	腰背部 (アロマトリートメント)
14	筆記テスト	前期で学んだ範囲の筆記テストを作成し実施
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実技	科目名	ブライダルエステB		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルエステB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	クリエース化粧品（エステセット）、ナースシューズ、実習着、大タオル、白タオル、コットン、消毒液			出版社	なし

科目の基礎情報2

授業のねらい	エステティックの基礎を学ぶことで将来、お客様にエステサロンへ通う事の意義や重要性を伝えることを習得する				
到達目標	基礎になるフェイシャルエステとボディエステができる				
評価基準	筆記テスト30% 実技テスト30% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)20% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人 日本エステティック協会 認定フェイシャル&ボディエステティシャン				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション フェイシャル技術理論 皮膚学について	☐ オリエンテーション ☐ フェイシャルについて「トリートメントの目的」 ・皮膚の構造を学ぶ
2	フェイシャルカウンセリング1	☐ お客様のお肌状態・お悩みに合わせてフェイシャルバック・ディープクレンジングの種類を提案し、技術ができる ☐ カウンセリング～ディープクレンジング～フェイシャルバック
3	フェイシャルカウンセリング2	☐ お客様のお肌状態・お悩みに合わせてフェイシャルバック・ディープクレンジングの種類を提案し、技術ができる ☐ カウンセリング～ディープクレンジング～フェイシャルバック
4	フェイシャルケアの流れ ポイントクレンジング	フェイシャルセッティング ポイントメイククレンジング / 手技練習について学ぶ
5	クレンジング～ コットン・スポンジ拭取り ホットタオルふき取り	クレンジング・拭き取り/手技について学ぶ ホットタオル拭取りのための準備や方法を学ぶ

6	クレンジングから復習	ホットタオル拭き取り実践
7	フェイシャルトリートメント～ふき取り～仕上げ1	フェイシャルトリートメント・ホットタオル拭き取り～仕上げを行う1
8	フェイシャルトリートメント～ふき取り～仕上げ2	フェイシャルトリートメント・ホットタオル拭き取り～仕上げを行う2
9	クレンジング～ フェイシャルトリートメント～ふき取り～仕上げ1	クレンジングからホットタオル拭き取り～フェイシャルトリートメントふき取り～仕上げ1
10	クレンジング～ フェイシャルトリートメント～ふき取り～仕上げ2	クレンジングからホットタオル拭き取り～フェイシャルトリートメント～ふき取り～仕上げ2
11	実技テスト	後期に学んだ範囲…フェイシャル
12	フェイシャルバック ディープクレンジング1 (ピーリング)	☐ デモンストレーションより学び実践 ・手技 ・拭き取り
13	フェイシャルバック ディープクレンジング2 (ピーリング)	☐ 前回の復習・実践 ・手技 ・拭き取り ☐ 小テスト(フェイシャルバックのテスト)
14	筆記テスト	筆記テスト…後期で学んだ範囲
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	パソコンスキル		
必修選択	選択	(学則表記)	パソコンスキル		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	パソコン技能検定対策問題集3級・模擬問題集3級 30時間でマスター Word&Excel 2019or2021			出版社	株式会社ユアサポート 実教出版

科目の基礎情報2

授業のねらい	検定取得を目指し、基本的な入力方法から書類作成など、パソコンの技能を習得				
到達目標	社会人として必要とされるパソコンの基礎操作ができるようになる				
評価基準	テスト60%、課題提出20%、授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者、成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	赤池 拓哉			実務経験	○
実務内容	静岡県公立高校で社会科教員として9年間勤務。その後独立し、現在はHP制作やLP制作、広告運用事業などに携わる。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・PC基礎知識	授業の流れ、検定と到達目標について PC基礎知識、タッチタイピング、ソフト、OCの使用方法、リテラシーについての理解
2	Word入門1	Wordの基礎知識について・文字入力方法を理解する
3	Word入門2	文章入力、入力の訂正、特殊な入力方法について
4	Word入門3	文の入力、文書の保存と読み込み、印刷、複写・削除・移動について
5	Word活用	文字揃え、文字装飾、均等割り付け、フォントの変更、サイズの変更、下線・太字・斜体についてについて
6	Word応用1	表の作成・編集について
7	Word応用2	表の作成・編集について練習

8	文書作成1	表入りビジネス文書作成練習
9	文書作成2	入力・表入りビジネス文書作成テスト
10	Excel入門	データ入力の手順、基本的なワークシートの編集、Excel書式設定について
11	Excel応用1	オートSUM、関数、四則演算について
12	Excel応用2	グラフの作成、グラフの設定変更について
13	Excel応用3	データ入力、関数、グラフ、テスト
14	前期まとめ	振り返り(学科、タイピング、Word、Excel)
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ビジネスメール		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネスメール		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	15
使用教材	ビジネスを強力にバックアップする“メール・テクニク” 改訂新版ビジネスメールの書き方・送り方			出版社	株式会社あさ出版

科目の基礎情報2

授業のねらい	ブライダル業界に必要な基本的なビジネスメールの送り方を学ぶ。				
到達目標	社会人として必要とされるビジネスメールマナーを学びスムーズに業務を進めることのできるテクニックを習得する。				
評価基準	テスト60%、課題提出20%、授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者、成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	この科目はオンデマンドにて実施します。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・メール基本設定	ビジネスメールを学ぶ意義・ビジネスメールのメリットデメリットについて
2	ビジネスメール導入1	ビジネスメールの構文について学ぶ
3	ビジネスメール実践1	現場で使用するビジネスメールの事例からメール作成
4	ビジネスメール導入2	現場で使用するビジネスメールの事例からメール作成
5	ビジネスメール導入2	現場で使用するビジネスメールの事例からメール作成
6	ビジネスメール導入3	現場で使用するビジネスメールの事例からメール作成
7	ビジネスメール実践3	現場で使用するビジネスメールの事例からメール作成

8	ビジネスメール応用導入1	現場で使用するビジネスメールの事例からメール作成
9	ビジネスメール応用実践1	現場で使用するビジネスメールの事例からメール作成
10	ビジネスメール応用導入2	ビジネスメールトラブルの解決法について
11	ビジネスメール応用実践2	ビジネスメールトラブルの解決法について
12	ビジネスメール応用導入3	ビジネスメールトラブルの解決法について
13	ビジネスメール応用実践3	ビジネスメール実務検定の内容、効率的なメール作成のテクニックについて
14	まとめ	ビジネスメール確認テスト
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ブライダルヘアアレンジⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルヘアアレンジⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	45
使用教材	電子版ヘアアレンジ、ヘア道具一式、ホットカーラー、ヘアアイロン・ドライヤー		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報2

授業のねらい	1年次に身に付けた基礎技術をいかし、更にヘアアレンジの幅を広げテクニックを身につける				
到達目標	衣装・小物にあったヘアスタイルを様々なパターンで提案し短時間で仕上げることができる				
評価基準	実技テスト30% 作品採点30% 小テスト（筆記実技・課題提出含む）20% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	無				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	井上 満智 他1名			実務経験	○
実務内容	ブライダル、TV局、スチール、舞台等の幅広い分野のヘアメイクを担当。レストラン等でフォトウエディング、挙式披露宴の洋装、和装共に担当している。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ウェディングヘアについて学ぶ	『ウエディングヘア』について学ぶ 流行のヘアスタイルを学ぶ
2	和装スタイル 振袖1	和装スタイルについて学ぶ (面ループ) ウィッグ
3	和装スタイル 振袖2	和装スタイルについて学ぶ (面ループ) ウィッグ
4	和装スタイル 振袖3 小テスト	和装スタイルについて学ぶ (面ループ) ウィッグ
5	洋装スタイル 白ドレス1	洋装スタイル(白ドレス)を学ぶ (ハーフアップ) ウィッグ
6	洋装スタイル 白ドレス2	洋装スタイル(白ドレス)を学ぶ (ハーフアップ) ウィッグ

7	洋装スタイル 白ドレス3 小テスト	洋装スタイル（白ドレス）を学ぶ （ハーフアップ）ウィッグ
8	洋装スタイル カラードレス1	洋装スタイル（カラードレス）を学ぶ （サイドダウン）ウィッグ
9	洋装スタイル カラードレス2	洋装スタイル（カラードレス）を学ぶ （サイドダウン）ウィッグ
10	洋装スタイル カラードレス3 小テスト	洋装スタイル（カラードレス）を学ぶ （サイドダウン）ウィッグ
11	和装スタイル 留袖・訪問着1	留袖・訪問着スタイルを学び実践する （シニヨン）ウィッグ
12	和装スタイル 留袖・訪問着2	留袖・訪問着スタイルを学び実践する （シニヨン）ウィッグ
13	和装スタイル 留袖・訪問着3 小テスト・ブロー理論1	和装スタイル小テスト・ブロー理論1
14	ブロー実践2	ブロー実践2
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ブライダルヘアアレンジⅣ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルヘアアレンジⅣ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	45
使用教材	電子版ヘアアレンジ、ヘア道具一式、ホットカーラー、ヘアアイロン		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報2

授業のねらい	1年次に身に付けた基礎技術をいかし、更にヘアアレンジの幅を広げテクニックを身につける				
到達目標	衣装・小物にあったヘアスタイルを様々なパターンで提案し短時間で仕上げるができる				
評価基準	実技テスト30% 作品採点30% 小テスト（筆記実技・課題提出含む）20% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	無				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション カウンセリング	教員紹介、後期の流れ、後期のゴール、授業のルール、成績について カウンセリングについて学ぶ
2	新日本髪について1	ブライダルヘアアレンジのⅢの復習を取り入れ『和装ウエディングヘア』について学ぶ 日本髪のスタイル構成と面の出し方を学ぶ □顔型をカバーするコツを学ぶ □前髪ありとなしでの見え方を学ぶ □ヘアアクセの種類と見え方を学ぶ □同じ髪型に対してヘアアクセの位置やモノにより見え方を学ぶ □同じ髪型で前髪ありとなしの違いを学ぶ
3	新日本髪について2	
4	新日本髪について3	
5	新日本髪について4 小テスト	
6	フリースタイル1	
7	フリースタイル2	流行のヘアアレンジ・トレンドを学ぶ

8	チェンジスタイル1	和装から洋装へのチェンジスタイルや、洋装から和装のチェンジスタイルなどを学ぶ
9	チェンジスタイル2	和装から洋装へのチェンジスタイルや、洋装から和装のチェンジスタイルなどを学ぶ
10	チェンジスタイル3 小テスト	和装から洋装へのチェンジスタイルや、洋装から和装のチェンジスタイルなどを学ぶ
11	チェンジスタイル4	和装から洋装へのチェンジスタイルや、洋装から和装のチェンジスタイルなどを学ぶ
12	チェンジスタイル5 小テスト	和装から洋装へのチェンジスタイルや、洋装から和装のチェンジスタイルなどを学ぶ
13	作品創作1	洋装・和装に合わせたヘアメイクアレンジを制作 2年間学んだヘアアレンジの技術を活かし、自由にヘアアレンジを創作する
14	作品創作2 作品採点	洋装・和装に合わせたヘアメイクアレンジを制作 2年間学んだヘアアレンジの技術を活かし、自由にヘアアレンジを創作する
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ブライダルメイク&フォトA		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルメイク&フォトA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	45
使用教材	メイク教材一式、ヘア教材一式 電子版BRIDAL			出版社	三幸学園

科目の基礎情報2

授業のねらい	お客様が喜ばれるフォトウェディング術を身に付ける				
到達目標	ブライダルメイクアップ検定取得 フォトウェディングの理解を深めると共に一年生で行った顔分析を踏まえてその技術を活かすことができる				
評価基準	作品制作30% 実技テスト30% 小テスト(課題提出含む)20% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	日本トータルメイクアップ協会 ブライダルメイクアップ検定				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	福島 裕司 他1名			実務経験	○
実務内容	外資系美容部員を経験後、ヘアメイクとして広告や舞台、雑誌など活動。美容業界に24年以上携わりながらお客様のキレイの基準向上に取り組んでいる。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ブライダル検定対策	☐ ブライダル検定までのスケジュール確認(復習) ☐ テーマ：ラグジュアリー イメージを理解する
2	ブライダル検定対策	☐ テーマ：クラシカル イメージを理解する
3	検定対策1	■ ブライダルの現場でも使えるメイクパターンを使用した検定取得に向けて実践する ～8パターン&プレゼン練習～ ☐ デッサンシート書きかた ☐ プレゼンの仕方導入 ☐ モデル確保について ☐ 8パターンを行う ☐ 時間内に仕上げる
4	検定対策2	
5	検定対策3	

6	検定対策4	■ブライダル現場でも使えるメイクパターンを使用した検定取得に向けて実践する ～8パターン&プレゼン練習～
7	検定対策5	□デッサンシート書きかた □プレゼンの仕方導入 □モデル確保について
8	検定対策6	□8パターンを行う □時間内に仕上げる
9	白ドレスに合わせたヘアメイク もしくはKPフォトコンテスト	ヘア&メイク通しで仕上げる メイク→可愛いor綺麗　ヘア→アップスタイル □ヘアメイクを通して仕上げる事により全体バランスを理解できる
10	白ドレスに合わせたヘアメイク もしくはKPフォトコンテスト	□タイムワークを意識 □手順、流れを意識し理解できている
11	白ドレスに合わせたヘアメイク もしくはKPフォトコンテスト	似合わせヘア&メイク　目元→ニュアンス ソフトベールトーン、暖色系可愛いor綺麗　ニュートラルな無彩色 □ヘアメイクを通して仕上げる事により全体バランスを理解できる
12	白ドレスに合わせたヘアメイク もしくはKPフォトコンテスト	□タイムワークを意識 □手順、流れを意識し理解できている
13	撮影・実技テスト (一人目)	相モデルでそれぞれ撮影 ※一人3コマ
14	撮影・実技テスト (二人目)	相モデルでそれぞれ撮影 ※一人3コマ
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ブライダルメイク&フォトB		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルメイク&フォトB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	45
使用教材	メイク教材一式、ヘア教材一式 電子版BRIDAL			出版社	三幸学園

科目の基礎情報2

授業のねらい	お客様が喜ばれるフォトウェディング術を身に付ける				
到達目標	フォトウェディングの理解を深めると共に一年生で行った顔分析を踏まえてその技術を活かすことができる				
評価基準	作品制作30% 実技テスト30% 小テスト(課題提出含む)20% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	無				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	福島 裕司 他1名			実務経験	○
実務内容	外資系美容部員を経験後、ヘアメイクとして広告や舞台、雑誌など活動。美容業界に24年以上携わりながらお客様のキレイの基準向上に取り組んでいる。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション カウンセリング術を学ぶ	後期の授業内容説明 カウンセリングの必要性を説明、流れ、内容、話術を説明、カウンセリングシートの記入の仕方を学ぶ
2	カウンセリング術を学ぶ	カウンセリングレクチャー後、ヘアでロールプレイング
3	コントゥアリングメイク	コントゥアリングメイクについて説明 コントゥアリングメイクの実践
4	ドレスに合わせた イメージ撮影準備	カラードレスで考える □モデルの雰囲気やドレスの形、色に合わせたヘアメイクの提案を学ぶ
5	ブライダルシーンに 合わせた撮影準備	チャペルや、パンケット、その他撮影アングルなど考えてトータルバランスが良くなるように撮影を考える
6	ブライダルシーンに 合わせた撮影(実技テスト)	ブライダルシーンも踏まえた作品として撮影する

7	卒業制作について 卒業制作準備1	卒業制作に向けて準備を行う ※撮影スケジュールを確認 ※小物アイテム作成、ポージング、撮影アングル等イメージを細かく考える ※撮影に向けてヘアメイク練習、モデルのポージング確認、ヘアメイクの写り具合など実際撮影し練習する ※各校判断・・・撮影場所、撮影状況、写真撮影枚数、ポージング バストアップ・全身等アングルによる枚数等
8	卒業制作準備2	
9	卒業制作準備3	
10	卒業制作撮影1	
11	卒業制作撮影2	
12	作品選び・振り返り	卒業制作の作品選び・振り返りを行う
13	卒業式ヘアメイク1	卒業式ヘアメイクについて説明・和装用メイクの説明 卒業式ヘアメイクの実践
14	卒業式ヘアメイク2	卒業式ヘアメイクの実践
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	洋装・和装メイクA		
必修選択	選択	(学則表記)	洋装・和装メイクA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	メイク道具一式、ヘア道具一式（後期） ボディージュエリー道具、和装カツラ（学校準備）		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報2

授業のねらい	和装メイクやかつら技術を知ると共に様々なシーンを予想しながら 和装・洋装メイクの提案ができるような力を身につける		
到達目標	洋装和装メイクのレパートリーを増やし、提案力を高める 結婚式の本番同様に限られた時間の中でヘアメイクのチェンジができる		
評価基準	実技テスト40％　小テスト(実技筆記・課題提出含む) 30％　授業態度30％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	無		
関連科目	無		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	小見　亜希子	実務経験	○
実務内容	化粧品会社に約10年勤務。接客・メイクタッチアップ・教育等経験後、メイク講師として活動。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 授業スケジュールの確認	オリエンテーション 洋装メイク・和装メイクについて説明　水化粧導入
2	和装花嫁のメイクのテクニック1	かつらの扱い方や付け方などを学ぶ 各名称の説明、水化粧のやり方を学ぶ
3	和装花嫁のメイクのテクニック2	かつらの扱い方や付け方などを学ぶ 水化粧のやり方を学ぶ
4	和装花嫁のメイクのテクニック3	かつらの下地のやり方や 水化粧のやり方を学ぶ
5	和装花嫁のメイクのテクニック4	洋装ファンデーションでの和装メイク
6	和装花嫁のヘアのテクニック	和装花嫁のヘアのボリュームの出し方を学ぶ
7	洋装花嫁のヘアの テクニック	洋装花嫁のヘアのボリュームの出し方を学ぶ

8	シーンに合わせた洋装メイク1	ウェディングシーンのテーマを決め そのシーンに合わせたメイクテクニックを学ぶ
9	シーンに合わせた洋装メイク2	洋装メイクを学び、実践する 屋外・ロケーションフォトのメイクを学ぶ
10	シーンに合わせた和装メイクから 洋装メイクへチェンジ1	ウェディングシーンのテーマを決め そのシーンに合わせたメイクテクニックを学ぶ
11	シーンに合わせた洋装メイクから 和装メイクへチェンジ2	和装メイクから洋装メイクへのチェンジを学び、実践する 屋外・ロケーションフォトのメイクを学ぶ
12	実技テスト（1人目） 筆記テスト	課題：提示したウェディングシーンにあったメイク テーマに合わせてメイクチェンジ
13	実技テスト（2人目）	
14	ブライダル対象別マルチメイク	性別や、年齢別のヘアメイクテクニックを学ぶ ボディートラブルの隠し方、列席者メイク等
15	総合学習	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	洋装・和装メイクB		
必修選択	選択	(学則表記)	洋装・和装メイクB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	メイク道具一式、ヘア道具一式（後期） ボディージュエリー道具、和装カトラ（学校準備）		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報2

授業のねらい	和装メイクやかつら技術を知ると共に様々なシーンを予想しながら 和装・洋装メイクの提案ができるような力を身につける				
到達目標	洋装和装メイクのレパートリーを増やし、提案力を高める 結婚式の本番同様に限られた時間の中でヘアメイクのチェンジができる				
評価基準	実技テスト40％ 小テスト(実技筆記・課題提出含む) 30％ 授業態度30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	無				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 授業スケジュールの確認	オリエンテーション 洋装メイク・和装メイクについて説明 水化粧導入
2	和装花嫁のメイクのテクニク1	かつらの扱い方や付け方などを学ぶ 各名称の説明、水化粧のやり方を学ぶ
3	和装花嫁のメイクのテクニク2	かつらの扱い方や付け方などを学ぶ 水化粧のやり方を学ぶ
4	和装花嫁のメイクのテクニク3	かつらの下地のやり方や 水化粧のやり方を学ぶ
5	和装花嫁のメイクのテクニク4	洋装ファンデーションでの和装メイク
6	和装花嫁のヘアのテクニク	和装花嫁のヘアのボリュームの出し方を学ぶ
7	洋装花嫁のヘアの テクニク	洋装花嫁のヘアのボリュームの出し方を学ぶ

8	シーンに合わせた洋装メイク1	ウェディングシーンのテーマを決め そのシーンに合わせたメイクテクニックを学ぶ
9	シーンに合わせた洋装メイク2	洋装メイクを学び、実践する 屋外・ロケーションフォトのメイクを学ぶ
10	シーンに合わせた和装メイクから 洋装メイクへチェンジ1	ウェディングシーンのテーマを決め そのシーンに合わせたメイクテクニックを学ぶ
11	シーンに合わせた洋装メイクから 和装メイクへチェンジ2	和装メイクから洋装メイクへのチェンジを学び、実践する 屋外・ロケーションフォトのメイクを学ぶ
12	実技テスト（1人目） 筆記テスト	課題：提示したウェディングシーンにあったメイク テーマに合わせてメイクチェンジ
13	実技テスト（2人目）	
14	ブライダル対象別マルチメイク	性別や、年齢別のヘアメイクテクニックを学ぶ ボディートラブルの隠し方、列席者メイク等
15	総合学習	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実技	科目名	ドレススタイリング A		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレススタイリング A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling			出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス

科目の基礎情報2

授業のねらい	ドレスを取り扱うにあたり、必要なスキル・センス・事務作業等を習得する				
到達目標	ブライダルヘアメイク、フォトスタジオなどに就職した際に即戦力となれるよう、ドレスデザイン A B で身に付けた知識を活かし、ドレスの取り扱いやコーディネートスキルを身に付ける				
評価基準	テスト50%・実技(ロールプレイング)30%・授業態度(提出物含む)20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ドレススタイリング B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	菊地 朋子			実務経験	○
実務内容	パタンナーとして婦人服アパレル会社にて2年間勤務、その前後で服飾専門学校及び大学にて講師として16年間勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	貸衣装店の業務フロー 衣装決定から搬入準備	業務の流れ、内容を知る,伝票作成から品揃え、タグの貼り付けまでの一連の流れ 在庫管理の重要性・納品・請求書明細・受領書・合計請求書・領収書
2	採寸	採寸方法を学びブライダルインナーについて知る
3	補正技術1	補正技術の基礎を学ぶ 新婦の洋装(ドレス)補正技術
4	補正技術2	タキシード採寸、裾上げ
5	衣装知識1	好きなブランド・ショップの理解を深めプレゼン・コラーージュする
6	衣装知識2	好きなブランド・ショップの理解を深めプレゼン・コラーージュする

7	プレゼンテーション	2～3週目で調べたドレスショップをコラージュを用いてプレゼンテーション
8	ディスプレイ技術1	ディスプレイのデザイン・グループワーク 検討
9	ディスプレイ技術2	ディスプレイのデザイン・グループワーク 実践
10	ディスプレイ技術3	ディスプレイのデザイン・グループワーク プレゼン
11	接客技術1	全員の前でフィッティング、プレゼンの実践
12	接客技術2	全員の前でフィッティング、プレゼンの実践
13	接客技術3	全員の前でフィッティング、プレゼンの実践
14	前期試験1	筆記試験
15	総合学習	前期まとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実技	科目名	ドレススタイリングB		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレススタイリングB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling			出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス

科目の基礎情報2

授業のねらい	ドレスを取り扱うにあたり、必要なスキル・センス・事務作業等を習得する				
到達目標	ブライダルヘアメイク、フォトスタジオなどに就職した際に即戦力となれるよう、ドレスデザインABで身に付けた知識を活かし、ドレスの取り扱いやコーディネートスキルを身に付ける				
評価基準	テスト50%・実技(ロールプレイング)30%・授業態度(提出物含む)20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ドレススタイリングA				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	菊地 朋子			実務経験	○
実務内容	パタンナーとして婦人服アパレル会社にて2年間勤務 その後で服飾専門学校及び大学にて講師として16年間勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	業務知識	メンテナンスの流れについて
2	衣装選択1	妊婦の花嫁様の対応方法、体形別アドバイス方法の復習
3	衣装選択2	テーマに沿った衣装を提案しフィッティングの実践を行う
4	衣装選択3	テーマに沿った衣装を提案しフィッティングの実践を行う
5	実技試験1	3~4週目の内容のプレゼンテーション (1人3分程度、人数によって調整)
6	新郎衣装・列席者衣装	新郎衣装案内・列席者衣装案内

7	新婦の洋装フィッティング1	ドレス選択からフィッティング、小物合わせまでトータルコーディネート (ヘアアレンジ含む)
8	新婦の洋装フィッティング2	ドレス選択からフィッティング、小物合わせまでトータルコーディネート (ヘアアレンジ含む)
9	トータルコーディネート1	テーマに対するスタイリングを実践する
10	トータルコーディネート2	テーマに対するスタイリングを実践する
11	トータルコーディネート3	テーマに対するスタイリングを実践する
12	ドレスコーディネート 接客ロールプレイング	授業で学んだ内容をもとに 受付対応～カウンセリング～衣装選択～小物選択の接客ロールプレイング (動画を撮影し、確認させてフィードバックを行う)
13	ドレスコーディネート 接客ロールプレイング	授業で学んだ内容をもとに 受付対応～カウンセリング～衣装選択～小物選択の接客ロールプレイング (動画を撮影し、確認させてフィードバックを行う)
14	後期試験1	実技・筆記試験を実施
15	総合学習	後期まとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	ドレスカウンセリング A		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスカウンセリング A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	15
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報2

授業のねらい	ドレススタイリストに必要な、カウンセリング力、トーク力を身に付ける				
到達目標	まずは接客業において必要な基礎スキルを身に付ける 幅広い年齢のお客様を自身持って対応することが出来る				
評価基準	ペーパーテスト40% 実技試験40% 授業態度(提出物含む)20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ドレスカウンセリング B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	遠藤 佑美			実務経験	○
実務内容	ドレスショップにてドレススタイリストとして勤務し新郎新婦衣装合わせのほか、広告撮影や買い付けを経験。 またフォトスタジオ立ち上げに関わりマーケティングやSNSを担当				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	接客業において必要な事を知る カウンセリングとはなにか、カウンセリングの意味を知る 身だしなみについて
2	表情練習1	笑顔を中心に接客においての表情練習を行う
3	表情練習2	撮影した動画を見て客観的に自分の表情を分析する
4	話し方・発声練習	お客様に好感を持っていただく為の話し方・発声方法を知る
5	お客様心理を学ぶ1	お客様の「イラッ」「モヤッ」をなくす基本の接客

6	お客様心理を学ぶ2	お客様の「イラッ」「モヤッ」をなくす基本の接客
7	敬語での会話練習1	敬語のみでお題に対してスピーチを行う
8	敬語での会話練習2	敬語のみでお題に対して会話を行う練習を行う
9	お客様心理を学ぶ3	好感度を上げる接客方法 接客を好きになる
10	花嫁クラスタ別対応方法1	花嫁クラスタ6種類について学ぶ
11	花嫁クラスタ別対応方法2	花嫁クラスタ別対応方法を考える
12	花嫁クラスタ別対応方法3	花嫁クラスタ別対応方法を考える
13	前期試験	筆記試験
14	前期試験	実技試験
15	総合学習	総まとめの実施

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	ドレスカウンセリングB		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスカウンセリングB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	15
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報2

授業のねらい	ドレススタイリストに必要な、カウンセリング力、トーク力を身に付ける				
到達目標	まずは接客業において必要な基礎スキルを身に付ける 幅広い年齢のお客様を自身持って対応することが出来る				
評価基準	ペーパーテスト40% 実技試験40% 授業態度(提出物含む)20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ドレスカウンセリングA、ドレスコーディネートAB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	遠藤 佑美			実務経験	○
実務内容	ドレスショップにてドレススタイリストとして勤務し新郎新婦衣装合わせのほか、広告撮影や買い付けを経験。 またフォトスタジオ立ち上げに関わりマーケティングやSNSを担当				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入1 接客の基本を知る	前期振り返りをしながら後期の導入を行う 7つの接客応対用語・気配りワード・初対面の人との話題づくり
2	導入2 接客の基本を知る	前期振り返りをしながら後期の導入を行う 7つの接客応対用語・気配りワード・初対面の人との話題づくり
3	カウンセリング応用1	カウンセリング、ヒアリング練習 明確・不明確の答えに対するカウンセリング法
4	カウンセリング応用2	カウンセリング、ヒアリング練習 明確・不明確の答えに対するカウンセリング法
5	カウンセリング応用3	カウンセリング、ヒアリング練習 明確・不明確の答えに対するカウンセリング法
6	カウンセリング実践1	3~5週で学んだ事を実践しながら行う

7	カウンセリング実践2	3～5週で学んだ事を実践しながら行う
8	カウンセリング実践3	3～5週で学んだ事を実践しながら行う
9	カウンセリング実践4	実際にペアを組みカウンセリング～クロージングまでの接客の実践を行う
10	カウンセリング実践5	実際にペアを組みカウンセリング～クロージングまでの接客の実践を行う
11	カウンセリング実践6	実際にペアを組みカウンセリング～クロージングまでの接客の実践を行う
12	カウンセリング実践7	実際にペアを組みカウンセリング～クロージングまでの接客の実践を行う
13	後期試験	筆記試験
14	後期試験	実技試験
15	総合学習	総まとめの実施

シラバス					
科目の基礎情報1					
授業形態	実技	科目名	ドレスコーディネート A		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスコーディネート A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	
科目の基礎情報2					
授業のねらい	ドレスフィッティングで学んだ技術を実践し、ロールプレイングを通して接客スキルを身に付ける				
到達目標	ドレスショップでの業務内容を理解し、新郎新婦様の小物を含めた洋装～和装のトータルコーディネートが出来る また、ロールプレイングを通してトーク力向上、衣装の扱いを理解し正しく扱う事が出来る。そして現在のトレンドを理解しセンスを身につける				
評価基準	テスト50％・実技(ロールプレイング)30％・授業態度(提出物含む)20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ドレスコーディネートB、ドレスカウンセリングAB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	岩崎 清美		実務経験	○	
実務内容	タレント、ミュージシャン等衣装デザイン製作も手がける。 洋服のみならずトータルで提案できるスタイリストとして活動中。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	貸衣装店の業務フロー 衣装決定から搬入準備		業務の流れ、内容を知る,伝票作成から品揃え、タグの貼り付けまでの一連の流れ 在庫管理の重要性・納品・請求書明細・受領書・合計請求書		
2	衣装知識		自分の就職希望先、または1番好きなドレスショップやブランドを調べコラージュする		
3	衣装知識		違いを把握するため自分の就職希望先の競合するショップやブランド、または2番目に好きなショップやブランドを調べコラージュする		
4	プレゼンテーション		2～3週目で調べたドレスショップ・ブランドをコラージュを用いてプレゼンテーション		
5	ディスプレイ技術		ディスプレイのデザイン・グループワーク 検討		

6	ディスプレイ技術	ディスプレイのデザイン・グループワーク 実践
7	ディスプレイ技術	ディスプレイのデザイン・グループワーク プレゼン
8	受付対応	電話受付・来店受付対応方法
9	衣装選択	妊婦の対応方法、体形別アドバイス方法の復習
10	衣装選択	アドバイス方法をもとにお題を出したのに対しドレスを選び プレゼン発表用に内容をまとめる
11	実技試験1	9～10週目の内容のプレゼンテーション（1人3分程度、人数によって調整）
12	フィッティング ロールプレイング	新郎衣装案内・列席衣装案内
13	実技試験2	受付対応のロールプレイングテスト
14	前期試験	実技・筆記試験を実施
15	総合学習	まとめ・振り返り

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実技	科目名	ドレスコーディネートB		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスコーディネートB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ドレスフィッティングで学んだ技術を実践し、ロールプレイングを通して接客スキルを身に付ける		
到達目標	ドレスショップでの業務内容を理解し、新郎新婦様の小物を含めた洋装(和装)のトータルコーディネートが出来る。 また、ロールプレイングを通してトーク力向上、衣装の扱いを理解し正しく扱う事が出来る。そして現在のトレンドを理解しセンスを身につける		
評価基準	テスト50％・実技(ロールプレイング)30％・授業態度(提出物含む)20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	ドレスコーディネートA、ドレスカウンセリングAB		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	岩崎 清美	実務経験	○
実務内容	タレント、ミュージシャン等衣装デザイン製作も手がける。 洋服のみならずトータルで提案できるスタイリストとして活動中。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期の復習	前期の振り返りを実施する
2	新婦の洋装フィッティング1	ドレス選択からフィッティング、小物合わせまでトータルコーディネート (ヘアアレンジ込)
3	新婦の洋装フィッティング2	ドレス選択からフィッティング、小物合わせまでトータルコーディネート (ヘアアレンジ込)
4	トータルコーディネート1	タイムを計り、ドレスのトータルコーディネート実践
5	トータルコーディネート2	タイムを計り、ドレスのトータルコーディネート実践
6	ブライダルコレクションに向けてドレス コーディネート1	ブライダルプロジェクトと連動

7	ブライダルコレクションに向けてドレス コーディネート2	ブライダルプロジェクトと連動
8	ブライダルコレクションに向けてドレス コーディネート3	ブライダルプロジェクトと連動
9	ブライダルコレクションに向けてドレス コーディネート4	ブライダルプロジェクトと連動
10	ドレスコーディネート 接客ロールプレイング1	授業で学んだ内容をもとに 受付対応～カウンセリング～衣装選択～小物選択の接客ロールプレイング (動画を撮影し、確認させてフィードバックを行う)
11	ドレスコーディネート 接客ロールプレイング2	授業で学んだ内容をもとに 受付対応～カウンセリング～衣装選択～小物選択の接客ロールプレイング (動画を撮影し、確認させてフィードバックを行う)
12	和装コーディネート 接客ロールプレイング3	授業で学んだ内容をもとに 受付対応～カウンセリング～衣装選択～小物選択の接客ロールプレイング (動画を撮影し、確認させてフィードバックを行う) ※ベアを変更する
13	和装コーディネート 接客ロールプレイング4	授業で学んだ内容をもとに 受付対応～カウンセリング～衣装選択～小物選択の接客ロールプレイング (動画を撮影し、確認させてフィードバックを行う) ※ベアを変更する
14	後期試験	実技・筆記試験の実施
15	総合学習	まとめ・振り返り

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実技	科目名	ドレスソーイング&メンテナンスⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスソーイング&メンテナンスⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ドレスソーイング&メンテナンスⅠで取得した知識・技術を活かし、メンテナンス業務が出来る。また、実際に作品作りを行う。		
到達目標	衣装のメンテナンス(裁縫業務・衣装点検)の基本を理解し出来る。 そしてミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレス制作において、自身でデザインした作品をオリジナルで完成させ満足のいく作品を創る事が出来る。		
評価基準	制作物50％・テスト30％・授業態度20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	ドレスコーディネートA B、ブライダルプロジェクトⅡA B		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	菊地 朋子	実務経験	○
実務内容	パタンナーとして婦人服アパレル会社にて2年間勤務、その前後で服飾専門学校及び大学にて講師として16年間勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	衣装点検	学校の衣装を点検する/洗濯表示について
2	メンテナンス業務1	1着の衣装をメンテナンス
3	メンテナンス業務2	1着の衣装をメンテナンス
4	メンテナンス業務3	1着の衣装をメンテナンス
5	メンテナンス業務4	1着の衣装をメンテナンス
6	メンテナンス業務5	衣装・小物のメンテナンス

7	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作1	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
8	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作2	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
9	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作3	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
10	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作4	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
11	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作5	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
12	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作6	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
13	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作7	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
14	前期試験	実技・筆記試験を実施
15	総合学習	まとめ・ふりかえり

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実技	科目名	ドレスソーイング&メンテナンスⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスソーイング&メンテナンスⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ドレスソーイング&メンテナンスⅠ、Ⅱで取得した知識・技術を活かし、メンテナンス業務が出来る。また、実際に作品作りを行う。		
到達目標	衣装のメンテナンス(裁縫業務・衣装点検)の基本を理解し出来る。 そしてリメイクドレス作成など卒業制作においては自身でデザインした作品をオリジナルで完成させ満足のいく作品を完成する事が出来る。		
評価基準	制作物50％・テスト30％・授業態度20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	ドレスソーイング&メンテナンスⅡ、ドレスコーディネートＡＢ、ブライダルプロジェクトⅡＡＢ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	菊地 朋子	実務経験	○
実務内容	パタンナーとして婦人服アパレル会社にて2年間勤務、その前後で服飾専門学校及び大学にて講師として16年間勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期の復習	前期の振り返り
2	ブライダルコレクション準備1	ブライダルプロジェクトと連動
3	ブライダルコレクション準備2	ブライダルプロジェクトと連動
4	ブライダルコレクション準備3	ブライダルプロジェクトと連動
5	ブライダルコレクション準備4	ブライダルプロジェクトと連動
6	ブライダルコレクション準備5	ブライダルプロジェクトと連動

7	ブライダルコレクション準備6	ブライダルプロジェクトと連動
8	ブライダルコレクション準備7	ブライダルプロジェクトと連動
9	卒業制作1	卒業制作としてリメイクドレスや作品創りを行う
10	卒業制作2	卒業制作としてリメイクドレスや作品創りを行う
11	卒業制作3	卒業制作としてリメイクドレスや作品創りを行う
12	卒業制作4	卒業制作としてリメイクドレスや作品創りを行う
13	卒業制作5	卒業制作としてリメイクドレスや作品創りを行う
14	後期試験	卒業制作のプレゼンテーション
15	総合学習	まとめ・ふりかえり

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ブライダルヘアメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルヘアメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	電子版ヘアアレンジ、電子版BRIDAL メイク道具一式、ヘアー道具一式			出版社	三幸学園

科目の基礎情報2

授業のねらい	1年次に身に付けた基礎技術をいかし、更にアレンジを教化しレパートリーを習得する				
到達目標	衣装・小物にあったヘアスタイルを様々なパターンで提案し短時間で仕上げることができる				
評価基準	実技テスト30% 作品採点30% 小テスト（筆記実技・課題提出含む）20% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	無				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	井上 満智 他1名			実務経験	○
実務内容	ブライダル、TV局、スチール、舞台等の幅広い分野のヘアメイクを担当。レストラン等でフォトウエディング、挙式披露宴の洋装、和装共に担当している。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ヘアアイロンスタイル1	オリエンテーション ヘアスタイルとして巻きの構成とスタイリングを考え実践する
2	ヘアアイロンスタイル2	ヘアアイロンを使い、スタイリングを行う
3	ハーフアップ1	スタイルの構成を理解し作品作りに繋げる
4	ハーフアップ2（人頭）	スタイルの構成を理解し作品作りに繋げる
5	ハーフアップ 小テスト	ヘアアイロンからヘアセットまでの時間を計る
6	面出しシニヨン1	面を綺麗に出すシニヨンの作り方

7	面出しシニヨン2	面を綺麗に出すシニヨンの作り方
8	シニヨンアレンジ1	シニヨンをベースにアレンジする
9	シニヨンアレンジ2	シニヨンをベースにアレンジする
10	シニヨン 実技テスト	ホットカーラーからヘアセットを時間を計る
11	洋装スタイル1	小テスト(作品採点)有
12	洋装スタイル2	小テスト(作品採点)有
13	和装スタイル1	小テスト(作品採点)有
14	和装スタイル2	小テスト(作品採点)有
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ブライダルヘアメイクⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルヘアメイクⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	電子版ヘアアレンジ、電子版BRIDAL メイク道具一式、ヘアー道具一式			出版社	三幸学園

科目の基礎情報2

授業のねらい	1年次に身に付けた基礎技術をいかし、更にアレンジを教化し多くのレパトリーを習得する				
到達目標	衣装・小物にあったヘアスタイルを様々なパターンで提案し短時間で仕上げるができる				
評価基準	実技テスト30% 作品採点30% 小テスト（筆記実技・課題提出含む）20% 授業計画20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	無				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ヘアアレンジカウンセリング1	オリエンテーション 相モデルでカウンセリング～ヘアアレンジまで行う
2	ヘアアレンジカウンセリング2	相モデルでカウンセリング～ヘアアレンジまで行う
3	カウンセリングテスト1	相モデルが写真を提示し、施術者が小物提案を想定しヘアアレンジを提案施術をする
4	カウンセリングテスト2	相モデルが写真を提示し、施術者が小物提案を想定しヘアアレンジを提案施術をする
5	新日本髪1	(ウィッグ) 新日本髪デモンストレーション スタイル構成と面の出し方を学ぶ
6	新日本髪2	(ウィッグ) 新日本髪実践
7	洋装スタイル1	相モデルで行う ※チェックテストあり ※お客様の好みを聞きだして、身に付けたテクニックを提供できる様カウンセリングを行って、施術をする

8	洋装スタイル2	相モデルで行う ※チェックテストあり ※お客様の好みを聞きだして、身に付けたテクニックを提供できる様カウンセリングを行って、施術をする
9	和装スタイル1	相モデルで行う ※チェックテストあり ※お客様の好みを聞きだして、身に付けたテクニックを提供できる様カウンセリングを行って、施術をする
10	和装スタイル2	相モデルで行う ※チェックテストあり ※お客様の好みを聞きだして、身に付けたテクニックを提供できる様カウンセリングを行って、施術をする
11	フリースタイル1	和装スタイル小テスト(採点あり) 基本テクニックを駆使し和装用ヘアスタイルを作り上げる～カウンセリングから提案までを含む～
12	フリースタイル2	和装スタイル小テスト(採点あり) 基本テクニックを駆使し和装用ヘアスタイルを作り上げる～カウンセリングから提案までを含む～
13	作品創作1	洋装・和装に合わせたヘアメイクアレンジを制作 2年間学んだヘアアレンジの技術を活かし、自由にヘアアレンジを創作する
14	作品創作2 作品採点	洋装・和装に合わせたヘアメイクアレンジを制作 2年間学んだヘアアレンジの技術を活かし、自由にヘアアレンジを創作する
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	60
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報2

授業のねらい	ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	社会人として必要な基礎スキルが身に付いている 相手の立場に立った物の考え方ができる 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	企業側評価75%（評価表にて採点）、学校評価25%（レポート）				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面形式で実施する				
担当教員	遠藤佑美 他1名			実務経験	
実務内容					

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	60
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報2

授業のねらい	ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	社会人として必要な基礎スキルが身に付いている 相手の立場に立った物の考え方ができる 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	企業側評価75%（評価表にて採点）、学校評価25%（レポート）				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は各実習先にて対面形式で実施する				
担当教員	遠藤佑美 他1名			実務経験	
実務内容					